

# 水すいえん焰

第 12 号

2009. 11

鶴岡協立リハビリテーション病院  
広報委員会

〒997-0346  
山形県鶴岡市上山添字神明前38  
TEL 0235-78-7511 FAX 0235-78-7515  
<http://www.turuoka-kyoritu-hp.or.jp>  
E-mail: smcrh\_ga@yamaikyo.or.jp

理念

障がいがあっても人間としての尊厳をもって生きることを  
支援するリハビリテーション医療・介護をめざします。

# 桃

# 太郎鬼退治!



いつもお手伝いいただいている鈴木喜久子さんの作品、  
一つひとつ紙を折って作り上げられています。

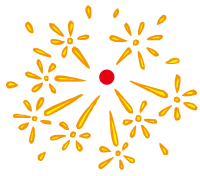
病気も一緒にやっつけてもらいましょう!



8/5  
WED

## 花火大会

今年も毎年恒例の花火大会が開催されました。まずオープニングの太鼓演奏ではボランティアの方々と一緒に職員も参加し、素晴らしい腕前を披露されました。花笠音頭では踊れる患者様が先頭に立ったり、一緒に花笠を動かしたりと楽しめました。目の前で噴き上げる花火や手持ち花火の華やかさに歓声あり、打ち上げ花火ではナレーションに興味をひかれながら患者様家族様ともに楽しんでいる様子でした。皆様大変喜ばれ夏の良い思い出になったのではないのでしょうか。

9/9  
WED

## BLS学習会

現在多くの場所にAEDが設置してあり一般の方でも使用できるようになっていますが、誰でも使用には躊躇するもの…。でもそうは言っていないのが医療従事者ではないのでしょうか？

このたび9月9日（救急の日！）に消防櫛引分署の方々を講師に迎え全職員を対象にAEDを使用する急変対応の学



習会を行いました。参加者からは「自己の振り返りができ今後の課題が明確になった」「実践に基づいた指導で学ぶことが多かった」そしてほとんどの参加者が「不安があるが今後に生かしたい」と前向きな感想をと寄せてくれました。これであなともAEDマスター (^-^ ) b





9/10 THU ▶ 11 FRI

## 東北高血圧脳卒中友の会

たんぽぽの会は、昭和58年に脳卒中の後遺症による『障がい』と闘って生活している方々がお互いに励ましあい、助け合い、人生に希望が持てるようにと作られた会です。学習会や遠足など、様々な活動を通し会医の皆さんが交流を図るとともに、積極的に外に出かけ地域のバリアフリー化を目指しています。

その中でも、東北6県の患者会が年に一度一同に集まり、親睦を深めながら医療や福祉の向上のために各県の活動報告や今後の取り組みなどを話し合う「東北高血圧脳卒中友の会」の大会が開かれており、会員の皆さんの大きな楽しみと励ましの機会になっています。今年9月10日～11日に秋田県男鹿温泉にて開かれ、たんぽぽの会からも多くの会員さんが参加されました。久しぶりに会う仲間との楽しい時間を満喫し、来年の再開も約束しました。また、住みやすい街づくりのために皆で声を上げていこうと再確認しました。



たんぽぽの会では新しい仲間を募っております。もし興味がある方は事務局の医療相談室までお声をかけていただければ幸いです。



9/12 SAT

山形県民主医療機関連合会  
第8回 看護介護活動研究交流集会

午前の指定報告・記念講演は、全国の民医連医療の運動が80年近く続けられ、長い歴史の中で大きな弾圧や苦難を乗り越え今日まで援助・支援活動が継続されてきたことなど、私の知らなかったことをたくさん教えられ、改めて私たちが民医連医療にかかわっていることを誇りに感じました。また守り続け伝えていかなければならないと強く思い、明日からの仕事の糧にしていこうと励まされた大変意義のある講演でした。



午後は各院所からの講演とポスターセッションでした。私の発表は「利用者様の思いを知りその思いを目標に支援し感じたこと」と題して発表してきました。とてもよい勉強になり刺激をもらってきました。そしてこの集会で一人一人の命を尊び、一人一人の声を大切にする民医連看護・介護の力の素晴らしさを実感し私も日々の業務の中で微力ながら実践していきたいと思います。

## 事務課

こんにちは、事務課です。  
 私たちは女性6名で構成されている職場です。窓口での受付や会計はもちろんのこと、カルテや資料の整理、庶務業務など、さまざまな業務を行っています。来院される方が最初に立ち寄る場所なので、笑顔で対応することを心がけています。他部門とも連携し、患者様が求めていることを理解できるようコミュニケーションを大切にしています。



### インフルエンザの基礎知識・咳エチケット



インフルエンザの予防や、もしかかったときにも周りの人につまさないように、下記「咳エチケット」に気をつけましょう。

- せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1 m以上離れる。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュをすぐに蓋付きのごみ箱に捨てられる環境を整える。
- 咳をしている人にマスクの着用を促す。咳をしている場合、周りの方へうつさないために、マスクを着用する。
- マスクの使用は説明書を読んで、正しく着用する。

## 編集後記

朝晩はめっきり冷え込むようになりました。皆さんは体調を崩されておられませんか？今年には季節性のインフルエンザに先だって新型インフルエンザが流行しています。

予防にはうがい・手洗いが有効、マスクについては地域のお店でも在庫切れが目立つようになっています。食欲の秋・スポーツの秋です。まずは体力をつけてウィルスのつけ入る隙をなくしましょう (^ ^)v

